

第1回 リンと生命の起源研究会

DNAやRNA(リボ核酸)、ATP(アデノシン三リン酸)の
構成成分であるリンは、
生命の必須元素
である。

しかし、体内中のリンの存在度と宇宙
空間におけるその間には大きな隔た
りがある。

例えば人体において、リンは水素原子
に対する数密度比で0.4%を有する。

一方で、宇宙でのリンの存在量(太陽組
成比)は、10のマイナス7乗程度と極め
て小さい。

生命は、存在量の低い元素を何らかの
理由であえて使ったのか、それともリ
ンは生命誕生の現場にて都合良く濃集
されていたのか。これは地球生命の起
源に深く関わる謎といえる。

リンが生命誕生の必須条件であるかど
うかを明らかにすることを最終目的と
して、本研究会ではリンの濃集をテー
マにした学際的な議論を行う。

講演

山岸 明彦 (東京薬科大学 教授 / 生命科学)

古家 健次 (筑波大学 助教 / 天文学)

富永 望 (甲南大学 教授 / 天文学)

飯塚 毅 (東京大学 准教授 / 惑星科学)

古川 善博 (東北大学 准教授 / 地球科学)

尾崎 和海 (東邦大学 講師 / 地球科学)

橋爪 秀夫 (物質・材料研究機構 主任研究員 / 鉱物学)

杉浦 悠紀 (産業総合研究所 研究員 / 鉱物学)

廣田 隆一 (広島大学 准教授 / 生命科学)

三村 徹郎 (神戸大学 教授 / 生命科学)

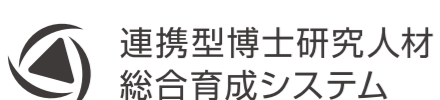
会場 首都大学東京秋葉原キャンパス

千代田区外神田1-18-13秋葉原ダイビル12階(1202)

お問い合わせ 藤井悠里(名古屋大学 特任助教)
yuri.f@nagoya-u.jp

主催：リンと生命の起源研究会組織委員会

後援：連携型博士研究人材総合育成システム・北海道大学人材育成本部・東北大学学際科学フロンティア研究所・名古屋大学高等研究院、首都大学東京



本研究会は、大学共同利用機関法人自然科学研究機構アストロバイオロジーセンターのプロジェクト(AB311016)の助成を受けて開催されています。

2019. 9 / 2 [13:00-19:00] — 9 / 3 [9:00-15:30]